



# バックアップデータからさらに多くの 価値を引き出す4つの方法

ビジネスではITを活用してあらゆるデータの価値を実現します。しかし、データを最大限に活用するためにオンプレミス、ハイブリッドクラウド全体、エッジでコピーの作成と移動を繰り返すと、多大な時間と費用がかかります。最悪のディザスタに備え、保険としてデータをバックアップするだけでなく、開発スピードを上げ、サイバー犯罪の脅威から保護し、新しいビジネスに役立つ情報をあきらかにするなどの目的でバックアップ内のデータを毎日使用できるとしたら、どうでしょうか。次に、最新のバックアップソリューションで競争が有利になるしくみを4つ紹介します。



## 1 バックアップインフラストラクチャを統合してデータ断片化を解消する

データは会社が保有する最も価値あるデジタルリソースです。ところがレガシーバックアップのポイント製品では、複数のサイロ化されたインフラストラクチャ、管理システム、拠点にわたりデータが断片化されるため、データは、IT部門が検索、保護、活用してビジネスを差別化するには、あまりにも複雑になっています。ここで必要になるのが、あらゆるデータのシンプルな活用方法です。ハイパーコンバージドなソフトウェア定義バックアップインフラストラクチャでは、バックアップされたデータとアプリケーションのすべてを1つのWebスケールプラットフォームに統合して、不要なデータコピーをなくし、マスタデータの断片化に対応します<sup>1</sup>。こうしたソリューションの最大のメリットは、コアからクラウド、エッジで動作し、Google検索に似たシンプルな検索で、すべてのバックアップデータに対して統一されたグローバルなアクセスが可能になる点です。



## 2 従来よりも簡単にバックアップデータにアクセスするため、開発/テストを高速化する

組織ではアジャイルなDevOpsモデルを重視するため、ソリューション構築の担当者全員の生産性の最適化が求められています。残念ながら、開発者がアプリケーションの開発やテスト時間を短縮するために必要とするデータは、多くの場合、アクセスが非常に困難なため、開発者の生産性を低下させています。アジャイルの世界では許容しがたいことですが、これが、費用がかかりコンプ

## バックアップデータのよくあるユースケース

- セキュリティ: ランサムウェア攻撃から保護する
- コンプライアンス: GDPR、HIPAA、PCIなどへのコンプライアンスを合理化する
- 開発/テスト: よりスピーディーに新規サービスを提供する
- 分析: 詳細な情報を取得する
- カスタムアプリケーションをビルド: データ損失の防止、電子情報開示などの機能を向上させる

<sup>1</sup> Network World, 『Understanding Mass Data Fragmentation』(マスタデータ断片化について) (2018年10月)

## バックアップデータをさらに有効活用する4つの方法

ライセンスの問題となる複数のデータコピーを伴う非効率的なプロセスで、レガシーのバックアップを使用するITチームの現実です。最新のバックアップソリューションでは、バックアップデータを簡単かつ瞬時に利用可能にし、オンプレミスとクラウドの両方で開発/テストの実行を高速化する必要があります。また、迅速でコストのかからないクローン作成、カスタマイズ、単一のプラットフォーム上での開発/テスト環境の分割、さらには断片化された運用費の高い開発専用インフラストラクチャスタックの排除をサポートする必要があります。とりわけ、データがイノベーションのペースを妨げる要因にならないようにする必要があります。



### 3 バックアップデータをインテリジェントに使用してランサムウェア攻撃に対処する

ランサムウェア攻撃はここ数年で700%以上に増加しており<sup>2</sup>、今年にはランサムウェアに起因する組織の出費が110億ドルにも達する見込みです。<sup>3</sup>サイバー攻撃者がランサムウェアを改良し、最初の攻撃ポイントとしてバックアップをトラックダウンして削除するケースが多くなるにつれ、分断されたレガシーバックアップ製品は、企業のサイバー課題の一因に加えられるようになっていきます。ここで必要になるのが、バックアップインフラストラクチャが標的にならないようする機能と、攻撃を受けたときに迅速に対処する機能の両方を備えた効率的なソリューションです。最新のWebスケールバックアップソリューションでは、機械学習を組み込んで継続的にデータの異常を監視すると同時に、パブリッククラウドも含む世界中の社内データすべてにわたり、最悪の事態が発生した場合でも感染したデータをすばやく自動的に検知して修復する必要があります。もちろん、任意のポイントへの即時で一括のリストアを実行し、データとアプリケーションを回復させてビジネスの継続性を確保できるようにする必要があります。



### 4 かつては「ダーク」データだったバックアップデータから重要な情報を取得する

バックアップには価値あるビジネス情報が含まれています。ところがレガシー製品を使用していると、データサイロが発生し、さまざまなデータからビジネスに役立つ情報を発見できません。ダークデータに注目し、組織の電子情報開示、コンプライアンス、分析の要件をサポートするのが、ビジネス上合理的な判断です。このため、統一されたバックアップソリューションでは、大量のデータセットを簡単に分析して、重要な情報を把握し、コンプライアンス違反を回避可能にする必要があります。データからのより多くの情報取得をサポートするプラットフォーム上で、パターン分析からパスワードの脆弱性検出に至るまでのさまざまなアプリケーションを実行可能にする必要があります。すべての最新ソリューションにさらに多くの機能が用意されるのが理想的です。たとえば、アプリケーションソフトウェア開発キット (SDK) では、独自のアプリケーションを構築し、バックアップデータに対して実行したり、自社のアプリケーションを共有および他社が提供するアプリケーションを発見するためのマーケットプレイスを構築したりできるようになります。

## バックアップデータに含まれる価値を簡単にすばやく検出する

バックアップ中のデータが、圧倒的な競争力につながることもあります。バックアップデータの潜在的価値を見過したり、バックアップを単なる保険と捉えたりするのは止めましょう。サイロ化した高価なレガシーバックアップをハイパーコンバージドバックアップソリューションに転換すると、バックアップデータへの要求が高まり、実際により多くの情報を取得できるようになります。不要なデータコピーを一掃し、コンピューティングとアプリケーションをデータに統合して、ビジネス成果の向上を加速します。ビジネス競争力を向上させる詳細情報を取得しましょう。

<sup>2</sup> Gartner. 『Protect Your Organization from Cyber and Ransomware Attacks』(組織をサイバー攻撃とランサムウェア攻撃から保護する) (2018年2月)

<sup>3</sup> IDC. 『The Digitization of the World From Edge to Core』(世界のデジタル化(エッジ~コア)) (2018年11月)



最新のバックアップ/リカバリの詳細については、こちらの[ホワイトペーパー](#)をダウンロードしてください